



ちいきほっとニュース

第34号

発行
北区社会福祉
協議会
〒462-0844
北区清水四丁目17-1
北区在宅サービスセンター内
電話:915-7435
FAX:915-2640

住民同士のつながり作り

10月6日 田幡公園周辺 金城文化祭開催

住民同士の親睦を深めるために

田幡公園周辺の金城エリアに住んでおられる地域の皆様との親睦を図りたいと金城二・三丁目自治会会長 伊藤勲さんが提案。周辺の4つの自治会に声をかけ金城文化祭実行委員会が立ち上がり、西来寺横井住職の協力のもと実施に至りました。

当日、西来寺境内にテントが張られ、弁慶屋五平餅やフランクフルトなどが抽選券付きのチケットと引換えに提供されました。

開始時間である午後2時から大勢の方が来られ、準備されていた食事席は既にいっぱいとなっており、五平餅やフランクフルトを頬張りながらおしゃべりに花が咲いていました。

盛りだくさんの楽しい企画とお楽しみ抽選会

台風の影響で時折、小雨が降り、予定より10分早く本堂が開場。受付が開始され続々と人が集まり場内は満席！受付では赤い羽根共同募金の募金箱設置のご協力をいただき、心よりお礼申しあげます。

本堂内では盛りだくさんの企画が用意されていました。

まず民俗学者・民話研究家である小島勝彦先生による、みんなの知らない金城のむかし話。船で川をわたり小学校へ通ったなど楽しい話を聞かせていただきました。次は二部制となっており、第一部はマンドリンアンサンブルMOEさんによる演奏をBGMにFM北愛知の人気キャスターたちやんが「よだかの星」を朗読。その後、馴染みの歌をMOEの皆さんの演奏で合唱！。第二部は振袖をリメイクしたドレスに身を包んだオカリナ奏者西村麻衣子さんの登場。吹き

口が3つあり幅広い音域を操ることが出来るトリプルオカリナの演奏では、高音の透き通るような澄んだ音色が響き渡っていました。

そして、最後はお待ちかねの大抽選会！豪華景品が沢山の手に渡り、参加された皆様は大変満足そうに会場をあとにされました。

来年度以降もこの取組が継続していかれるようで楽しみです！



お客様との交流とともに福祉についてPR

きた福祉フェスティバル実行委員によるストリートパフォーマンス

10月21日(日)に”きた福祉フェスティバル”が開催されました。

“きた福祉フェスティバル”は、～広げよう 笑顔と笑顔で ちいきの“わ”～をテーマに、区内の小規模作業所や障がいのある方、ボランティアの方々のご協力により開催しています。

当日は、笑顔がいっぱいで、当事者の皆様が活躍している姿も目立ちました。その一つが、今年度初めての企画となる、“きた福祉フェスティバル”実行委員会(以下実行委員会)によるストリートパフォーマンスへの参加です。

この企画は、昨年度実施した『福祉クイズ』を活かして、福祉について知っていただくことはもちろん、さらにたくさんの団体やグループ、特に当事者の皆様が参加していただける何かをみんなで作っていききたいとの思いから、実行委員会にて話し合いをし、実現しました。

実行委員会において、「福祉クイズの答えを当事者の皆様に発表してもらってはどうか。」「手話ソングは、誰でも知っている曲で、手話も簡単に覚えられるものがないのではないか。」「北区社会福祉協議会のマスコットである『ふくちゃんきたちゃん』をパペット※にして進行してみてもどうか。」等皆さんから多くのアイデアをいただきました。



※↑ふくちゃんきたちゃん↑
パペット第1号

当日は、上記のアイデアがまとまり、会場はお客さまと一体になり、交流しながら福祉についてアピールできました。このようなつながりをさらに広げていけるように来年度の”きた福祉フェスティバル”も実行委員会のみなさんと進めていきたいと考えています。ご来場いただいたみなさま、ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。



● ふくちゃんきたちゃんパペット制作！

～ 区民の方のご協力で完成しました ～

9月25日、10月9日両日、北区在宅サービスセンターボランティアルームにて、北区在住の有志の方々に、マスコットキャラクターふくちゃんきたちゃんパペットづくりにご協力いただきました。

型紙も何もないところからお願いしましたが、ふくちゃんきたちゃんのイラストを元にあっという間に型紙が完成。フェルトやボタン、レースなどの材料もご自宅にあるものなどをご寄付くださり、制作開始。3人の素晴らしいチームワークで、手縫いの作業を行うこと5時間。愛らしいふくちゃんきたちゃんのパペットが無事、完成しました！。ふくちゃんきたちゃんパペットはこれからも様々な所で活躍していきます。ご協力ありがとうございました。

念願の
パペットが
完成して
うれしいなあ



完成しました！

そだねえ



楽しいイベントもりだくさん\(^o^)/

イベント情報・募集

北区のようなイベント情報を掲載するコーナーです。
掲載依頼、問合せは、下記連絡先まで
☎ 915-7435 Fax 915-2640

● 手をつなぐ育成会 クリスマス会のお誘い ●

- ▽日時 12 月 2 日 (日)
12 時 30 分～15 時 30 分
- ▽場所 北区役所 講堂
- ▽内容 笑助大介さんの落語、パン食い競争
やゲーム等をして楽しめます。
- ▽参加費 一世帯 500 円 (但し育成会会員無料)
- ▽問合せ 北区手をつなぐ育成会
☎ : 911-8962
FAX : 915-9770

担当：宮原



ふくちゃんきたちゃんボランティア委員会
● プチサロンふくちゃん・きたちゃん ●
～ふくしがきた 開催します～

ボランティアサロン&セルフ製品販売会を開
催。北区のみんなが楽しく交流し、つながる場
です。

- ▽日時 12 月 10 日 (月) 11 時～14 時
- ▽場所 北区在宅サービスセンター (北区役所 1 階)
研修室・ボランティアルーム

- ▽内容
- ① ボランティア紹介&相談コーナー
 - ② セルフ製品
(障がいのある方が作った自主製品)
 - ③ 飲み物コーナー
(パン、クッキー、コーヒー、ジュース)
 - ④ 活動紹介、ミニ教室、歌声演芸サロン

▽主催
ふくちゃんきたちゃんボランティア委員会

▽問合せ ☎ : 915-7435
北区社会福祉協議会

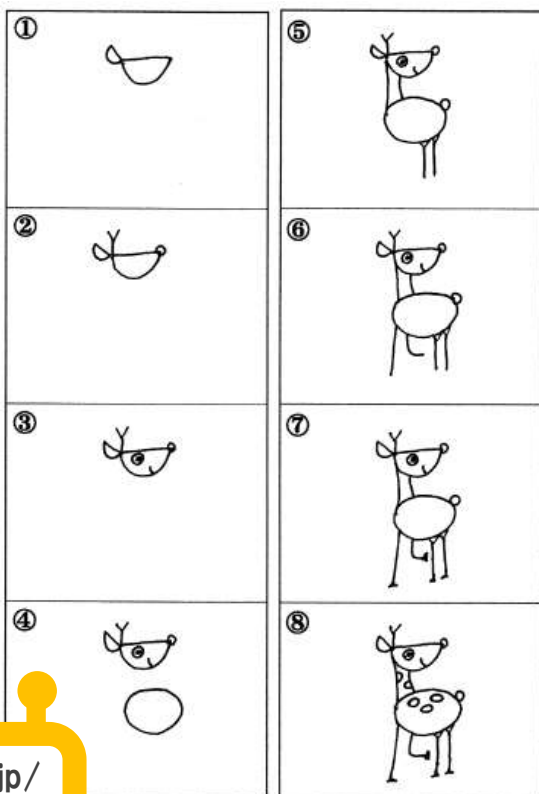
担当：山田

これであなたも
お絵かき名人！
お絵かき辞典
コーナー

～その 5～



自分で絵を描くのが苦手でも、順番に書いていけばステキな絵が完成します。楠学区にお住まいの楠三郎さん (ペンネーム) によるお絵かき辞典です。今回は、シカです。



見るまえに跳べ

W.H. オーデン

この言葉を初めて目にしたのは、大江健三郎の短編集でした。もともとは W.H. オーデンの詩集に載っている言葉で、「石橋を叩いて渡る」の意味の「Look before you leap」とは逆の意味をあらわす「Leap Before You Look」を訳したものです。失敗を恐れ、手段の選択に迷うようであれば、まず一歩を踏みだしてみる。

この言葉を見ると、誰の心にも潜む不安や心配といった気持ちから抜け出す勇気を与えてくれるような気持ちになります。



第 24 回 私の好きなことばリレー

北区社会福祉協議会 主事 橋本 恒作 さん

<http://www.kitashakyo.jp/>

ホームページから
カラー版をご覧いただけます

地域イベント大募集！ お電話 (☎915-7435) お待ちしています。

北区の体操が完成！

～ 北区オリジナルテーマ曲 (Departure-Theme of Kita Ward-) に合わせて～

北区のオリジナルテーマ曲 (Departure-Theme of Kita Ward-) に合わせて、世代を問わず誰もが楽しく取り組める体操が完成。10月21日の区民まつり特設ステージでお披露目させていただきました。

この体操は、北区役所、北区いきいき支援センター、北区社会福祉協議会の協力のもと北区地域リハビリネットワークにより、考案された健康体操です。

『北区地域リハビリネットワーク』とは、平成28年より名古屋市北区の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など地域リハビリテーションにかかわる職種が集まり、地域に根差した活動を行う団体です。体操の内容は、年代を問わず取り組み、普段使わない筋肉を強化できるように考えられており、また、北区の地形や“K I T A”のアルファベットなどを取り入れ、体操を通じ、“北区”に愛着を持てるよう工夫されています。

10月21日のお披露目会では、北区地域リハビリネットワークを始め、北区長、区民まつり実行委員長、女性会、はつらつ長寿推進事業男性の会『元気の会』のみなさん等で披露させていただきました。今後は、北区のさまざまな場所で北区のみなさんに愛される体操となるよう周知していく予定です。



体操の様子“KITA”区の“K”ポーズ

防災まめ知識

～その18 災害ボランティアについて③～

『防災まめ知識』は、名古屋きた災害ボランティアネットワークさんのご協力による、防災関連のまめ知識についての連載です。気軽に読んで、ためになって楽しいコーナーです。

～南海トラフ巨大地震がやってくる！？ 私たちにできること その18～

■ さまざまな災害ボランティア活動

前号では、被災地でのボランティア活動における心構えについてご紹介しました。今号では、災害ボランティアではどのような活動があるのかをご紹介します。ニーズは、時間の経過とともに変化します。それに伴い、そのニーズによって必要な資器材や必要なボランティアの人数、スキル等も異なってきます。

○からだを使った活動

がれきの撤去（室内外の撤去）、泥出し（側溝等の泥出し）、物資運搬・配達（不足品等の運搬）、引越手伝い（仮設住宅等への引越）

○家事的な活動

片づけ（ごみの片づけ）、清掃・洗浄（室内や汚れた食器等）買い物同行（重いものを持つ）、炊き出し（材料調達と調理）

○特技を活かして

子どもの相手（避難所やイベントで）、障がい者支援（手話・点字・ガイドヘルプ等）、パソコン作業（事務作業やチラシ作成）、IT 技術活用（ブログやFacebook）

○その他

情報収集・提供（必要な生活情報提供）、資器材の搬出入・整備（活動の後方支援）、足湯（話を聴きながら）、交流の場づくり（孤立を防ぐために）

ここに記載がない場合でもボランティアセンターにご相談下さい。

